

A. 主な動き

1. 内政

▼議会の動き

- ・2日、議会共産党会派を6月7日に離脱したミシン議員は、タルレフ元首相と共に新党「復興党」を結成する旨発表。
- ・4日、政府は、大統領選出過程の引き伸ばし防止を目的とした大統領選挙法改正法案を承認。

2. 経済

▼農業

- ・2日、ボスタン・モルドバワインガイド社長は、農産品を対象とした地理的表示(GI)保護に関するEU・モルドバ間合意は、モルドバ産ワイン生産者を保護する旨発言。

▼対モルドバ支援

- ・2日、ネグルツァ・モルドバ財務相と伊ユニ・クレジット系列オーストリア銀行(UniCredit Bank Austria)は、同銀行がモ

ルドバの医療サービス改善のため750万ユーロを貸与することで合意。

3. 外政

▼レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のルーマニア訪問

・3日、ブカレストにおいてモルドバの欧州統合に関するモルドバ・ルーマニア政府間混合委員会が開催され、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相、マルガ・ルーマニア外相及びオルバン・ルーマニア欧州相等が出席。双方は、モルドバ・EU交渉の進捗状況及び欧州拡大過程におけるルーマニアの役割等に関し協議。同日、運用が開始されたモルドバ・ルーマニア外務省間ビデオ会議システムを利用し、フィラト首相とポンタ首相が会談を実施。両者は、モルドバの欧州統合及びエネルギー協力問題等に関し協議。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)